

(試 算)

2020年の入域観光客数の減少が県経済に及ぼす影響
－ OCVBの2020年の入域観光客数の見通しをもとに試算 －

新型コロナウイルスの感染拡大の影響が本県でも広がっており、経済面への影響では特に観光関連産業へ及ぼす影響が大きくなっている。2020年の入域観光客数については、7月30日に沖縄観光コンベンションビューロー (OCVB) が「2020年の入域観光客数の見通し (推計)」を公表した。この推計値は、6月までの実績に、7月以降の想定 (ホテルや航空会社等からの予約状況などの聞き取り調査による) を合算したものであり、想定した入域観光客数の見通し (想定前年比ケース) のほかに、今後の感染状況によって、更に予約のキャンセルが拡大した場合の見通し (想定より悪化したケース) の2つのケースを推計している。

そこで、当財団ではOCVBの入域観光客数の推計をもとに、入域観光客数の減少が県経済に及ぼす影響について、当財団のN I A C計量経済モデルを用いて試算してみた。

以下の試算結果は、新型コロナウイルスの感染が発生しなかった場合の県経済の水準を標準ケースとして、OCVBが公表した新型コロナウイルスの影響を受ける2020年の入域観光客数の見通し (2ケース) をもとに試算した県経済の水準を、標準ケースと比較したものである。なお、同試算は入域観光客数の減少が及ぼす影響であるため、それ以外の各種イベント中止などの影響は含まれておらず、これらの影響も含めると、県経済へのマイナスの影響は更に大きいものとなる。

(ケース1) 想定前年比ケース・・・標準ケースとの対比

- 試算の前提条件
 - ・ 2020年の入域観光客数 391.0万人
 - ・ 入域観光客数の減少数 625.4万人減少
 - ・ 観光消費額の減少額 4,710億円減少

- 試算結果
 - ・ 名目の県GDPは、3,267億円減少する。
 - ・ 実質の県GDPは、6.3%ポイント減少する。
 - ・ 就業者数は、3万2,730人減少する。
 - ・ 完全失業率は、1.8%ポイント上昇する。
 - ・ 消費者物価は、0.8%ポイント低下する。
 - ・ 税収 (国税と地方税) は、624億円減少する。

(ケース2) 想定より悪化したケース・・・標準ケースとの対比

○ 試算の前提条件

- ・ 2020年の入域観光客数 365.0万人
- ・ 入域観光客数の減少数 651.4万人減少
- ・ 観光消費額の減少額 4,920億円減少

○ 試算結果

- ・ 名目の県GDPは、3,411億円減少する。
- ・ 実質の県GDPは、6.6%ポイント減少する。
- ・ 就業者数は、3万4,200人減少する。
- ・ 完全失業率は、1.9%ポイント上昇する。
- ・ 消費者物価は、0.9%ポイント低下する。
- ・ 税収（国税と地方税）は、651億円減少する。

(前提条件)

	想定前年比ケース	想定より悪化したケース
入域観光客数	391.0万人	365.0万人
(前年差)	(▲625.4万人)	(▲651.4万人)
観光消費額の減少額	▲4,710億円	▲4,920億円)

(主要項目)

名目県GDP	▲3,267億円	▲3,411億円
実質県GDPの成長率	▲6.3%ポイント	▲6.6%ポイント
就業者数	▲32,730人	▲34,200人
完全失業率	+1.8%ポイント	+1.9%ポイント
消費者物価	▲0.8%ポイント	▲0.9%ポイント
税収	▲624億円	▲651億円

(注1) ▲はマイナス。

(注2) 観光消費額は付加価値のみでなく、中間投入である仕入額なども含む。

(注3) 県GDPは、中間投入分を除く付加価値のみである。

(注4) 税収は国税と地方税の合計金額。

(注5) 試算はNIAC計量経済モデルを用いた試算。

標準ケース：標準ケースの入域観光客数は2019暦年の実績データ(1,016万3,900人)を使用。

また、一人当たり消費額は2018暦年の実績データ(7万369円)を使用。

入域観光客数と一人当たり消費額以外の前提条件は、NIACの2020年度の経済見通し(2020年2月19日公表)と同じである。

(N I A C計量経済モデル)

計量経済モデルは、GDPや民間消費、設備投資、就業者数などの経済変数の長期の時系列データを用いて、変数間の因果関係を表した連立方程式から成る経済モデルである。当財団のN I A C計量経済モデルは、沖縄経済の動きを反映させた構造方程式36本、定義式81本の計117本の連立方程式で構成されている。構造方程式で解かれる変数は実質民間消費支出や実質設備投資、消費者物価、就業者数などであり、定義式で解かれる変数は名目民間消費支出、名目設備投資、失業率などである。また、モデルの外から外生的に与える外生変数は46変数（人口や入域観光客数、為替相場、公共投資など）である。同モデルに政府消費支出や公共投資などの政策変数や原油価格、為替レート、入域観光客数などの与件変数の値を入力することにより、経済予測や各種のシミュレーションを行う。

(上席研究員 金城 毅)